

せん妄治療における主剤選択アルゴリズム

2014年10月:心療内科・精神科

糖尿病

あり

なし

腎障害

腎障害

あり

なし

あり

なし

脳血管障害既往

あり

なし

- ・日中に割と起きている場合:ルーラン
- ・日中の眠気が強い場合:エビリファイ

- ・脳血管障害なしの場合:リスペリドン
- ・脳血管障害ありの場合:グラマリールを定期+頓服リスペリドン
- ・日中の眠気が強い場合:エビリファイ

- ・幻覚妄想がさほど強くない場合:ルーラン
- ・幻覚妄想が強い場合:ジプレキサ
- ・日中の眠気が強い場合:セロクエル
- ・低活動せん妄の場合:エビリファイ

- ・グラマリールを定期+頓服リスペリドン

- ・興奮普通、幻覚妄想がさほど強くない場合:リスペリドン
- ・興奮強く、幻覚や妄想が活発な場合:ジプレキサ
- ・日中の眠気が強い場合:セロクエル
- ・低活動性せん妄の場合:エビリファイ

参考文献

- 「自信がもてる！せん妄診療ははじめの一步」(小川 朝生/著), 羊土社, 2014.
- 「病棟・ICUで出会うせん妄の診かた」(八田耕太郎, 岸 泰宏/編), 中外医学社, 2012.
- 薬物療法検討小委員会：せん妄の治療指針-日本総合病院精神医学学会治療指針1-, 星和書店, 東京, 2005.
- 八田耕太郎：せん妄の原因, 診断, 治療の原則. 精神科治療学, 28(8) : 985-990, 2013
- 岡島美朗：低活動性せん妄とうつ病の鑑別. 精神科治療学, 28(8) : 1019-1025, 2013.
- 明智龍男：せん妄の向精神薬による対処療法と処方計画. 精神科治療学, 28(8) : 1041-1047, 2013.